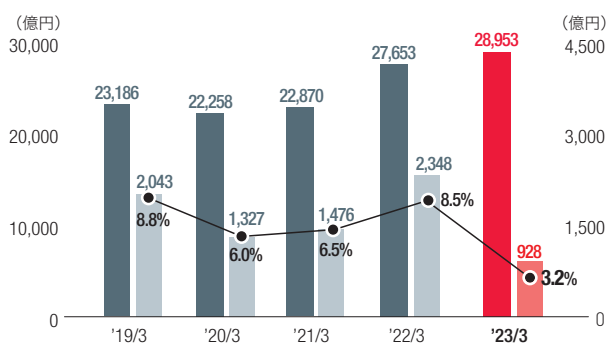


# 財務ハイライト

- 売上収益 (左軸)
- コア営業利益 (右軸)
- 売上収益コア営業利益率

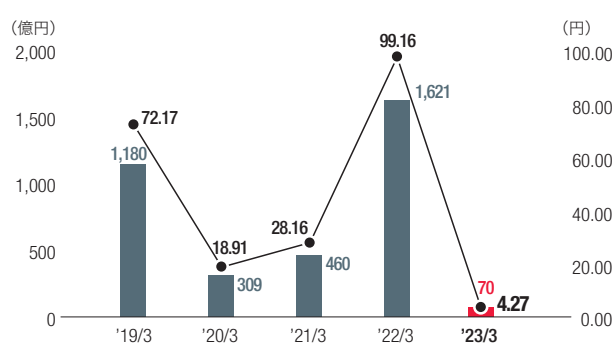
**928** 億円 (コア営業利益) 2021年度比 **-60.5%** ↓



売上収益は、円安による邦貨換算差等により、前年度に比べ1,300億円増加しました。一方、エッセンシャルケミカルズにおいて原燃料価格の高騰などにより交易条件が悪化したこと、医薬品においてラツダの米国での独占販売期間が終了したことなどにより、コア営業利益は前年度に比べ1,420億円減少しました。

- 親会社の所有者に帰属する当期利益 (左軸)
- 基本的1株当たり当期利益 (右軸)

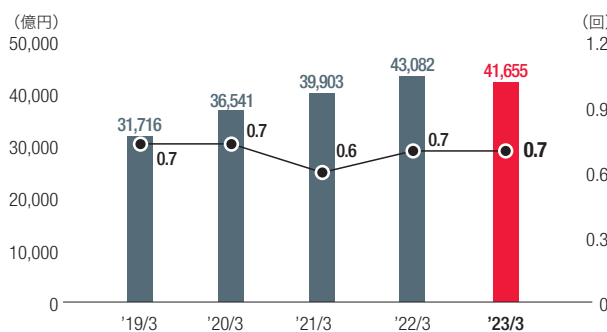
**70** 億円 (親会社の所有者に帰属する当期利益) 2021年度比 **-95.7%** ↓



コア営業利益の減少に加え、当期は医薬品において多額の減損損失を計上したことなどにより、親会社の所有者に帰属する当期利益は前年度に比べ1,551億円減少し、70億円となりました。

- 資産合計 (左軸)
- 資産回転率 (右軸)

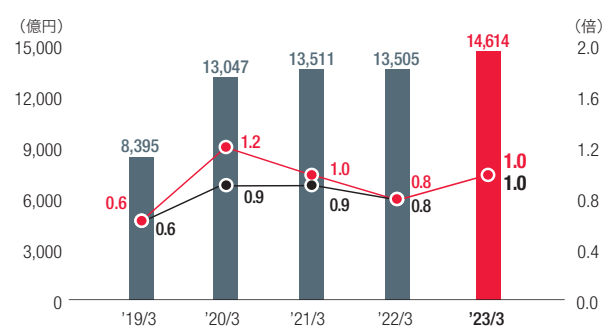
**41,655** 億円 (資産合計) 2021年度比 **-3.3%** ↓



資産合計は、減損によるのれん及び無形資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ1,426億円減少し、4兆1,655億円となりました。

- 有利子負債 (左軸)
- D/E レシオ※1 (右軸)
- ネットD/E レシオ※2 (右軸)

**14,614** 億円 (有利子負債) 2021年度比 **+8.2%** ↑



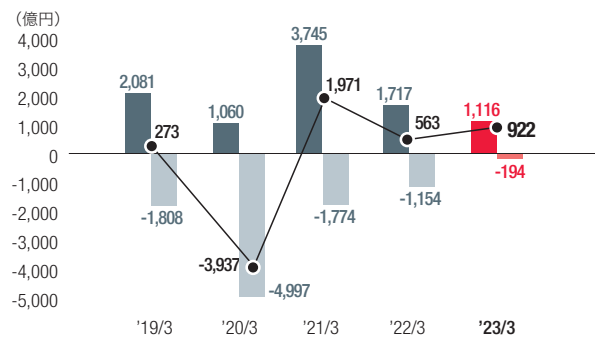
有利子負債残高は、医薬品における借入金の増加などにより、前年度比で1,109億円増加しました。一方、マイオバント社の完全子会社化などに伴い、親会社の所有者に帰属する持分、資本合計がともに減少したことで、D/Eレシオ、ネットD/Eレシオはそれぞれ上昇しました。

※1 D/Eレシオ=有利子負債/資本合計

※2 ネットD/Eレシオ=ネット有利子負債(有利子負債-現金及び現金同等物)/親会社所有者帰属持分

■ 営業キャッシュ・フロー  
■ 投資キャッシュ・フロー  
● フリー・キャッシュ・フロー

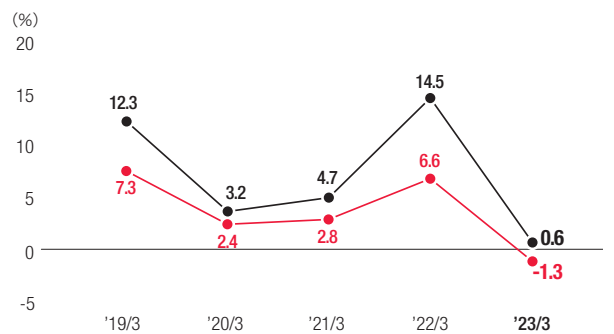
**922** 億円 (フリー・キャッシュ・フロー) 2021年度比 **+359** 億円 ↑



営業キャッシュ・フローは、減損損失等の非資金損益項目の増加や運転資金の減少があったものの、税引前利益の減少などにより601億円収入が減少しました。投資キャッシュ・フローは貸付金の回収や投資の売却および償還といった収入があり、960億円支出が減少しました。その結果、フリー・キャッシュ・フローは359億円増加し、922億円の収入となりました。

● ROE ● ROI

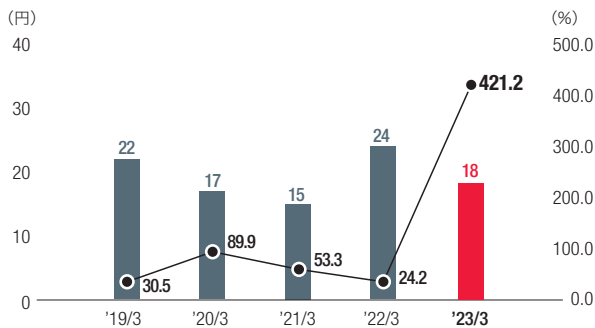
**0.6%** (ROE) 2021年度比 **-13.9** pt ↓  
**-1.3%** (ROI) 2021年度比 **-7.9** pt ↓



当期損益の大幅な悪化に伴い、ROE、ROIともに前年度を大きく下回りました。

■ 1株当たり配当金 (左軸)  
● 配当性向 (右軸)

**421.2%** (配当性向) 2021年度比 **+397.0** pt ↑

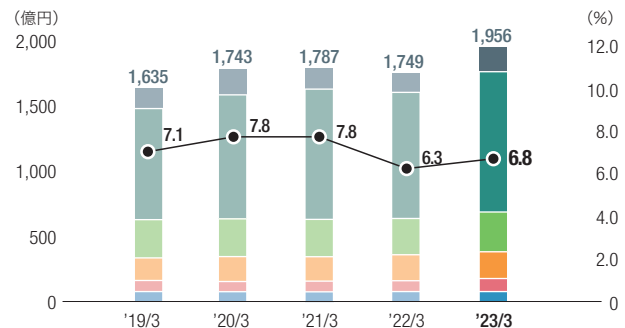


当期は、1株当たりの年間配当金を18円として実施しました。親会社の所有者に帰属する当期利益の減少の影響により、配当性向は421.2%となりました。

研究開発費 (左軸)

■ エッセンシャルケミカルズ ■ エネルギー・機能材料 ■ 情報電子化学  
■ 健康・農業関連事業 ■ 医薬品 ■ その他  
● 売上収益研究開発費比率 (右軸)

**1,956** 億円 (研究開発費) 2021年度比 **11.8%** ↑



研究開発費は、医薬品部門における円安による邦貨換算差等により、前年度と比べ207億円増加し、1,956億円となりました。